

皆さんこんにちは。

私は、空港の運営委託制度立ち上げ時期の担当課長を務めておりまして、いろいろな自治体が理屈はわかるが実際に取り組みまでに迷いを抱かれている中で、村井知事が強いリーダーシップを持って、東北の復興には、空港を核とした経済活性化をやっていくべきであると、確信的におっしゃっていただきまして、私は非常に感銘を受けた思い出がございます。

その後も、法律の制定や具体的な制度づくりを行っていく中でも、知事の強いリーダーシップをいただきまして、いよいよ運営委託が始まるという今、非常に感慨深く思っている次第です。

前置きが長くなりましたが、そういう気持ちの中で一言御挨拶をさせていただきます。

まず、東日本大震災によりお亡くなりになった多くの方々に対して、ここに改めて心よりお悔やみ申し上げます。

また、今なお行方がわからない方々の御家族をはじめ、被災された全ての方々に心からお見舞いを申し上げます。

東日本大震災の際には、仙台空港も甚大な被害を受けたわけではありますが、関係者の大きな御努力により迅速に復旧し、復旧活動の拠点としても大きな役割を果たしました。

こうした苦難を乗り越えながら、進めて参りました仙台空港の民営化は、国管理空港としての第一号案件として、また震災からの復興の起爆剤としまして、非常に意義深いプロジェクトであると思っており、先ほど申し上げましたとおり、村井知事の非常に強いリーダーシップのもと、長きにわたる関係者の努力がここに実ったということを大変嬉しく思っております。

今後、仙台空港は全国に先駆けて民営化へ舵を切るわけですが、これは地域の皆様の期待だけでなく、全国の空港関係者も大いに注目しているところです。

関係者の皆様には是非フロントランナーとして、全国の空港経営改革をけん引していくというお気持ちで取り組んでいただきたいと思いますと考えております。

仙台国際空港株式会社様におかれましては、来月からいよいよ空港ビル事業、7月からは全ての事業を運営していただく予定になっております。

地域の方々にはこれまでいろいろと連携をいただいておりますが、さらにまた連携しながら空港運営に邁進されることを期待しております。

また本プロジェクトの成功には、関係者一丸となった取組が不可欠と思っております。

本日お集まりの関係者の皆様には、是非とも応援していただきたいと思いますと考えております。

国土交通省といたしましても、精一杯の努力をまいります。

結びといたしまして、本プロジェクトの実現に尽力されました全ての関係者の皆様に感謝申し上げますとともに、仙台空港の民営化が東北地方全体の活性化、震災からの復興につながることを祈念いたしまして、私のあいさつとさせていただきます。

ありがとうございました。